

2023年度 研究助成金の 贈呈式を開催

矢崎科学技術
振興記念財団

矢崎科学技術振興記念財団はこのほど、東京都港区の東京プリンスホテルで2023年度の「研究助成金」受領者15人と、「矢崎学術賞」受賞者3人に対する贈呈式を開催した。

同財団は、1983年以来、科学技術の発展を目的として「研究助成」事業を行って

り、今年度も独自のかつ成果が科学技術の発展に大きく貢献するものと考えられる研究を



贈呈式の模様

対象として選考された。

「研究助成」は、「材料・デバイス」「環境・バイオサイエンス」「エネルギー・情報通信」の分野を対象領域とし、「一般研究助成」「奨励研究助成」「特定研究助成」の三つの助成制度が設けられている。
また、国際的な学会での研究発表や共同研究をする際の渡航費を支援する「国際交流援助」、過去に当財団から「研究助成」を受けた研究者の中から優れ

た業績をあげた研究者を表彰する「矢崎学術賞」がある。

各助成金の受賞者（代表）は次のとおり。
【一般研究助成】200万円・応募60件
◎遠藤求奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授「植物の光周性原理の解明とテンプン質バイオマスの生産への応用」など5件。
【奨励研究助成】100万円・原則35歳以下の研究者が対象・応募36件】孫鶴鳴横濱国

立大学大学院工学研究
院准教授「アルゴリズムとアーキテクチャの
協調最適化による学習
型画像圧縮システム」
など10件。

【矢崎学術賞・応募7件】
〈功績賞〉
長汐晃輔東京大学工学系研究科教授
〈奨励賞〉若手研究者を対象
鈴木大地産業技術総合研究所センシングシステム研究センター主任研究員・星本陽一
大阪大学大学院工学研究科准教授。